

なごおが Photo ウオッチング



▶緊急時の適切な対応を

阪神淡路大震災を契機に、ボランティア活動や自主的な防災活動を広く認識してもらうために創設された「防災とボランティア週間（1月15日～21日）」。

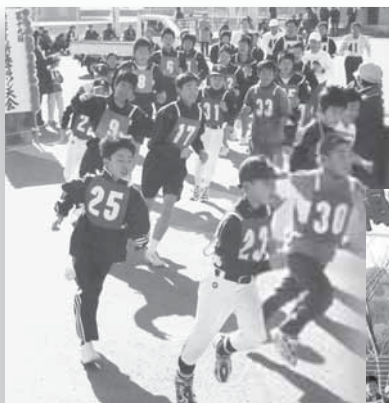
その期間中の1月16日、小北中学校で防災とボランティアの講習会が行われました。講習に参加した一年生の生徒たちは、119番通報の訓練や火災の初期消火訓練、心肺蘇生法と自動除細動装置（AED）の使用などを学び、緊急時の適切な対応について認識を深めていました。

◀新春を祝う走り初め

新山・陶山の両地区で新春マラソン大会が行われました。

1月8日には、「新山地区新春マラソン大会」が新山公民館を発着点として開催され、最年長65歳を含む108人が、それぞれのクラスで健脚を競いました。完走後は新春福引き会でみんな大盛り上がり。

1月15日には、陶山公民館を発着点とした「陶山ぼっけーマラソン大会」。寒風をものともせず、参加者は気持ちの良い汗をかいていました。また、マラソン大会後には、とんど祭りも催され、火がつけられたとんどでおもちを焼くなどして、楽しんでいました。



▶誓いを胸に大人の仲間入り

1月9日、「第58回成人式」が市民会館で挙行されました。今年新たに成人の仲間入りをしたのは、男344人、女311人の合わせて655人でした。

新成人による実行委員会が企画した式典は、厳粛な雰囲気にも包まれ、来賓者のお祝いの言葉や、後輩の演奏する吹奏楽などで社会人としての門出を祝福されました。

ロビーには、大人としての抱負や誓いが書かれたメッセージボードが並び、笠岡市への募金活動も行われました。

また、学生時代の恩師も数多く駆け付け、記念撮影や談笑でなごやかなひとときを楽しまれました。



◀干拓の乳牛を全国ブランドに

昨年11月に栃木県で開催された「全日本ホルスタイン共進会」の結果報告に、笠岡湾干拓地内の植田牧場・植田成人さんと希望園・山本真五さんが12月27日、市長室を訪れました。

植田さんは、第10部（経産4～5歳）で優等5席を受賞し、乳量・乳質が最も良いものに贈られる「ベストプロダクション賞」も受賞。また、山本さんは、第8部（経産36～42カ月）で1等9席を受賞しました。

二人は、「干拓地の酪農をPRするためにも、次回はもっと上位をねらいたい。」と抱負を語っていました。

